

愛知スキー協通信 No.288

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2019年 2月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo.co.jp

<http://aichiskykyou.yukigesho.com/>



編集：ぶなの木スキークラブ

50周年を機に新教程の真髓を深め 教え合う仲間の輪を広げよう



文責 愛知スキー協 理事長・技術部長兼任 寺田康男
(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)

他人の得たものを自分の糧にレベル アップしよう！その第2弾

教え合うは、スキー協の宝です。自分の言葉に置き換えて他人のレベルアップも、自身が成長するのに役立ててしましましょう。1月のレベルアップでこんなことに気が付きました。「みんな切替えゾーンで山回りをしているよ」

皆に共通する課題です

「切替えゾーンで山回りをしてしまう」＝「斜滑降ができない」＝「内倒している」＝「加速しない」＝「スピード感がない」＝「次のターンにスムーズに入れたい」＝「スピードの制御をして安心感を得ている」

以上の全てが総てです。「斜滑降はどんな滑りのこと？」という質問も出ました。真っ直ぐ斜めに太目の浅いズレのない平行なシュプールを二本、付ける事だと私は思いますが、貴方はどんな言葉で表現しますか？ 是非議論してください！

1月12日の野麦峠スキー場
「東海ブロックレベルアップ
スキー教室の風景です」

愛知1名、岐阜4名、静岡3名、
三重1名 全然他の人もいません。
目の前は乗鞍です。雪もいません。



雪の少ない中でも乗鞍でリーダー養成など開催

1月12日(土)～14日(月)、乗鞍高原スキー場周辺で全国山スキーリーダー養成・研修、深雪滑降レベルアップ講習会が開かれました。全体で17名の参加、愛知のぶなの木スキークラブから山スキーリーダー養成に2名、深雪滑降レベルアップに4名、計6名が参加しました。

1日目の午前はスキー滑降練習、午後は怪我をした人を山の麓まで安全に下ろすために、スキーを使った救急搬送訓練でした。この搬送訓練はぶなの木の方が講師で、スキーをつなぎ合わせそりの形にしてその上に怪我人を乗せて運ぶのです。ロープ、カラビナ、ストック、スコップの柄を使い、つなぎ合わせます。スキーのトップとテールに穴をあけておくとつなぎ合わせるのに便利です。そりになったスキーの上を痛くないようにザックを乗せ、怪我人役の人をウエアとツェルトなどで暖かく包み乗せます。そりの4箇所をロープでしばり、4人でそのロープを持ち斜面を滑らせ安全なところまで移動させます。なかなか難しいです。



スキーで作ったそりを運ぶ



スキーをつないだそり

2日目は山スキーリーダー養成・研修の組は乗鞍へ入山。滑降の組も午前中はビーコン・シール登高、午後は深雪滑降のはずでしたがリフト脇のちょっぴり残った浅い深雪で練習。

愛知から初めて山スキーを履くという女性に今回の感想を聞きました。スキーは指導員を目指していたということでもって上手です。「今年の1月下旬に八甲田山へ行って深雪を滑るので、その準備で深雪を滑るための幅広のスキーとシールなどを買い、11/29の『山スキーのつどい』にも参加しました。

ぶなの木の経塚さんからこの企画を紹介してもらい、深雪練習のため今回の全国スキー協の深雪滑降の企画に参加しました。ビーコンとゾンデ棒の使い方は購入したスキーショップの講習会が近くの公園であったのでそこで練習しました。スキーを使っての救急搬送は初めてでした。怪我人をツェルトでつつんで、



初めてのシール登高で

組み合わせたスキーに乗せたりするのは、こんな風にするのかと勉強になりました。シール初体験の時もシールが新しいから止まるはずと声をかけられ、実際にしっかり止まりました。幅広のスキーは今回深雪がないのでその性能の良さと威力をまだ体感していません」でした。(文責：浅井)

1 日目は曇天、2 日目は快晴スノーフェスタ(平湯)

1月25日(金)夜~27(日)、第56回愛知スキー祭典・第21回東海ブロックスノーフェスタが平湯温泉スキー場を中心に、150名近い参加者で大盛況のうちに開かれ、岐阜11名、静岡15名、三重9名、兵庫2名、愛知87名の参加者でした。

コース別ではスキー教室28名、スノーボード教室5名、ポール練習30名、スノーシュー16名、山スキー6名、ネイチャースキー4名、27日(日)メインの競技会は97名でした。

26日(土)夜の交流会は参加者のクラブ毎・グループ毎の紹介、恒例深雪スキークラブのダンシングヒーローの踊り、おもしろ競技会の表彰、今年初めての企画でお楽しみ抽選会と盛り沢山。150名近い参加者で、景品は86点。2人に一人は当たる確率です。大いに盛り上がりました。

26日(土)は大雪との予報でしたが、時々薄日がさし気温は低かったのですが、まあまあの天気でした。子供スキー教室は子ども達みんな上手くなり、中級バーンも滑れるようになり教えていた指導員が感動していました。ボード教室も指導員が親切で教室以外でも一緒に滑って友だちみたいだったと好評でした。山スキーは猫岳までは行けませんでしたが大ふかふかの深雪を滑りました。

27日(日)はだんだん晴れてきて10時頃は快晴。メインの競技会は参加者が100名近く大勢でしたが、計測機器のトラブルもなくスムーズに運営できました。

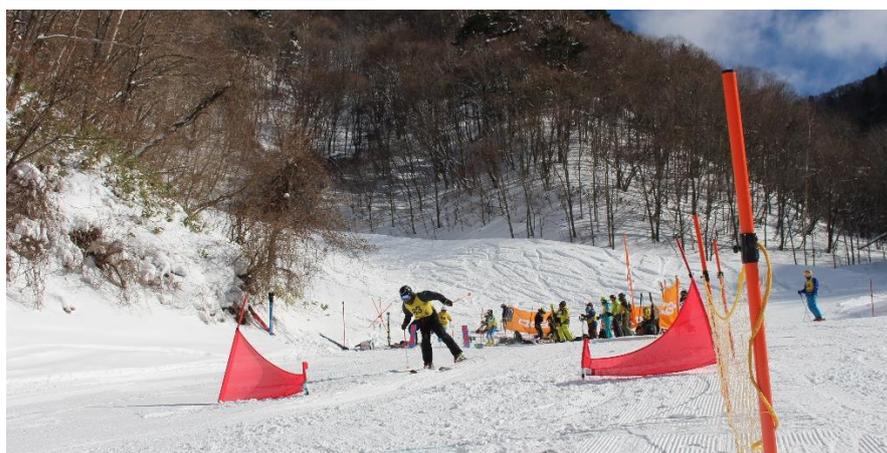
スノーシューは26日は上高地で念願の河童橋まで全員が行けました。27日はスノーシューとネイチャースキーは乗鞍高原まで足を伸ばし、雪煙上がる乗鞍岳を見て感激。歩くコースは今年「子リスの径」、針葉樹林の中で木漏れ日を楽しみながら歩きました。ネイチャースキーはガイドさんの案内で誰もいない林の中の深雪を滑りました。深雪で転ぶとなかなか起きあがれないのですがそれもまた楽しい。昼食はお日様の光を浴びながら景色のいい池の畔で乗鞍岳を見ながら食べることができ、参加者全員大満足で帰ってきました。(文責：浅井)



スノーシュー かつば橋で



ネイチャースキー
東大ヒュッテ前



競技会

S.C.直滑降 年末年始スキーツアー in 菅平 11名参加

クラブでは、毎年、年末年始スキーツアーを実施しています。菅平スキー場で、宿はサングリーンです。今年は31日朝名古屋出発の2泊3日で行ってきました。近年参加者が減ってきて、細々とやっています。

今年は6人の家族が参加してくれました。小学5年生はスキー初級、中学生と大学生はボードの初級者で中学生はお姉ちゃんより早くうまくなるんだと勝気です。子どもはみんな道具がレンタル。クラブ員のおばあちゃんは78才。久しくスキーや山登りが出来ていません。卓球はやっているのですが、足やひざの筋力が弱っていて、今回はスキーはしません。でも、雪の上を歩いて感覚を思い出していました。スキーの楽しさを孫たちに知ってほしいと、子ども夫婦と孫を誘ってくれました。40代のお母さんも、久しくスキーをやっていますが、最後の日の半日、スキーをレンタルして、ボーゲンで滑っていました。お父さんはスキーで、中々、達者。でも、最後の日の半日、娘に負けまいと、初めてのボードに挑戦しました。半日でリフトに4回乗るという上達ぶりです（「雪も前夜15センチぐらい降って、ゲレンデの状態が良かったから」と）。

おおみそかの31日の夜の菅平は、スキー場の山で、花火があがり、宿の部屋から見ることができました。いろいろ楽しめた正月でした。（加藤）

深雪スキークラブ 1/30夜～1/2 野麦峠スキー場 11名

恒例の年末年始スキー、今年は参加者が11名（うち宿泊9名）。年末年始ということで通常とは違うスキー行事で、スキー教室以外に昼は雪上運動会、夜の交流会はゲーム・カルタなどお正月らしい企画を考えてやっています。スキー場の企画で1/1はお餅つきもあります。

今年は参加者が少ないので雪上運動会は止めようかという雰囲気でしたが、準備したんだからやっぴりやろう実施。ドッジボール、ミカン運び、雪上大型カルタ、凧上げを2組に分かれて競い合いました。1/1は天気が良く、初めての凧上げはカイト（洋凧）で斜面を少し走っただけですぐに気持ちよくあがりました。周囲からも注目されました。



青空に映えるカイト

大晦日と正月の夜は平湯での東海ブロックスノーフェスタのクラブ出し物の練習とトランプ、百人一首、ゲームで汗をかきました。

初めて年末年始スキーに参加したクラブ員が一番面白かったのが雪上運動会と坊主めくりだったとの感想で、やって良かったです。（浅井）

全国スキー協 50周年ウィークイベント

- 3/2-3 山スキー（菱が岳）
- 3/2-3 スノーボード
- 3/4 チーム対抗デュアルスラローム大会
- 3/5～6 プロスキーヤーと滑ろう：長谷川絵美さん
- 3/8 シンクロパフォーマンス大会
- 3/9 親子だで楽しめる大運動会
- 3/9（夜）講演：岩谷高峰、岸野悦雄
- 3/9～10 スノーボード、スキー教室、山スキー、ネイチャースキー体験

東海ブロック競技会(第2戦)

- 3/16（土）回転競技（2本）
- 3/17（日）大回転競技（2本）
- スキー・スノーボード・テレマークの部門あります。1日だけの参加OK
- 会場：野麦峠スキー場
- トレーニングバーン
- 参加費：4000円